

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	学校法人・小倉幼稚園
活動日時	令和6年9月～令和7年2月
学級名	うめ組（5歳児）
年間テーマ	絵本の読み聞かせ （環境の違いや保育の広がりを知る）



1. 活動テーマ

<テーマ>

絵本 シリーズ「へんしんトンネル」

<テーマの設定理由>

活字に触れる機会や文字への興味をもち、言葉の変化を楽しんでほしいため

2. 活動スケジュール

- *絵本を ひとり1冊選んで読んで、好きな言葉を共有する。
- *絵本を ひとり1冊選んで読んで、感想ノートを作り記入する。
- *ふじ組（5歳児）とパネルシアターや大型絵本を共有する。
- *作品展に向けて飛び出し絵本やセンサリーバック・パペットの製作をする。

3. 探求活動の実践

<活動内容>

環境の設定	活動中の子どもの姿・声
○「へんしんトンネル」のコーナーに興味を持つように絵本にでてくるキャラクター等で飾り付けをする。 ○ 園にない へんしんシリーズの絵本の追加 ○ 感想ノート	・コーナーに興味を示しみんなで読む姿が見られるようになる。   ・感想ノートに記入し たくさん読んだ実感を味わったり自分で文字を写すなどする姿が見られた。

- ひらがな表をすぐ手に取れるところにおいておく。

- ふじ組と共有し、生き物のカード作り

「これがタカアシガニだよね？」とカードの字をみて確認！

[作品展]

- いろいろな廃材などを使って言葉の楽しさを作品で表現する。

「カッパ大先生ができた！」と出来上がったパペット（人形）に大喜び！！

- ・ ひらがな表を見ながら子ども同士で字を教え合う姿がみられた。
- ・ 自分の名前や知っている言葉を変換して口ずさんだり字を丁寧に書く姿が見られた



- ・ 生き物の名前や海拔何メートルかなどひらがなや数字を書き入れてカードを作り水族館で実際の生き物にふれる。



4. 振り返り

- ☆へんしんシリーズ絵本は、文章量が少ないが声に出して読んだり、次に変わる言葉を予測しながら読んだりする姿が見られ興味の広がりには驚いた
- ☆絵本の文字を感想ノートや製作時に書き写すとき、絵本のフォント通りにする子が多くいた。修正はせず忠実に書き写していることに感心した。
- ☆文字に多く触れる機会が増えて、手紙を書いたり字を教え合うようになり、良い刺激を受けあっているのを感じられた。
- ☆最終的に作品展で立体的に表現するときに、すぐにイメージをもって活動を進めることができた。
- ☆テーマを持続的に行ったことで、子ども同士の一体感や共感がうまれた。